

ふるさと定着回帰部会これまでの主な意見

全体に関わる意見

・人口減少対策について、全体の大きな問題の研究・教育・実践が大切である。大学等と連携して地域学などを研究する体制を整えてほしい。最終的にはシンクタンクのようなものの実現を目指してほしい。

施策1 若者の定着・回帰、移住の促進

- ・市町村の転入の際に把握するなど、移住者の全数を把握する仕掛けはできないか
- ・ふるさとリクルーターの活用など、首都圏の学生に対するアプローチ方法を検討すべきではないか。
- ・成人式などの若者が多く集まる場を利用するなど、効率的な情報発信が必要ではないか。
- ・中・高校生を中心に若い人たちに対するふるさと教育を充実するなど、ライフプランを考える機会が必要ではないか。
- ・アクティブシニア層の移住の促進や、地域のリーダーに着目した移住の促進などのアプローチを検討すべきではないか。
- ・移住者の定着度や満足度の実態を把握して、課題の解決に反映させていくべきではないか。
- ・農林水産業への就業プログラムを充実させる必要があるのではないか
- ・海外からの留学生や県外学生の活躍促進(起業の促進など)を図るべきではないか。

施策2 結婚から出産、子育てまで総合的な少子化対策の推進

- ・子育ての制度・施策について、改善プロジェクトチームの検討結果を反映した施策の検討と県民の意識向上を図るべきではないか。
- ・中・高校生を中心に若い人たちに対して、子育てやライフプランを考える機会を与える必要はないか。
- ・子育てしやすい秋田を県内外に対して強くPRする必要があるのではないか。
- ・小規模の子育てグループなどを支援し、活動を支える仕組みが必要ではないか。
- ・0歳児へのサポートの強化と、様々な業種によるチームサポート体制が必要ではないか
- ・同居や近居をサポートする支援制度が必要ではないか。

施策3 女性や若者の活躍推進と仕事と家庭の両立促進

- ・親が休みをとりやすく子どもと接する時間を確保できる環を確保する必要があるのではないか。
- ・先進的な企業にならい、イクボスの取組をすべきではないか。
- ・地域の高校と市町村が連携した地域づくりの取組が必要ではないか。
- ・高校生が地域課題に取り組む場づくりや、サードプレイス(学校でも家庭でもない学びの場)の活用が必要ではないか。

施策4 安全で安心して暮らせる地域社会づくり

- ・食を通じた地域づくりが必要ではないか。
- ・地域おこし協力隊員について、その活動とネットワークづくりを支援するとともに、地域への定着に結びつける必要があるのではないか。
- ・高校生が地域課題に取り組む場をつくる必要はないか。(再掲)
- ・母親が子どもと参加するなど、多世代での地域活動への参加を促進する必要があるのではないか。